



中野あきと

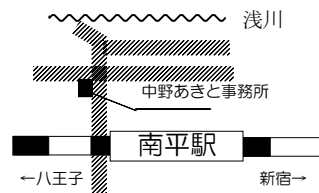
みどりと清流



https://midoritoseiryu.skr.jp

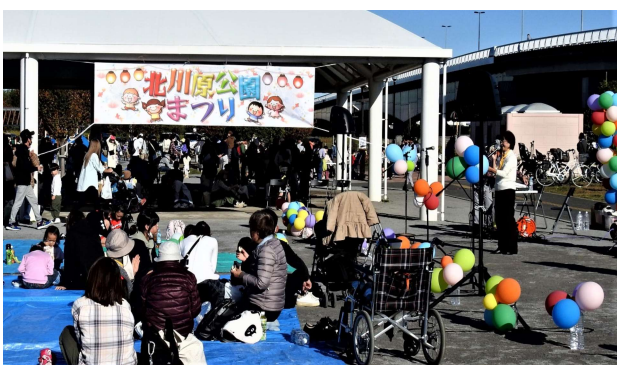
日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニユース
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



QRコード、アドレスをご利用になると、創刊号より検索できます

11月19日に行われた「北川原公園まつり」は、朝から延べ2000人の市民が足を運び大盛況となりました。
会場では子どもさんたちのチアダンス、一輪車の演技もあり、三線やウクレレ演奏と歌なども行われました。ミニSSLや乗馬体験には長い列ができました。
実行委員会による市民手づくりのまつりは、違法が確定したごみ搬入路を移設し、公園建設する予定地を多くの人に親しんでもらう機会となりました。



日野市の2億9500万円の支出は不当

住民訴訟の判決を通して明らかにした 川辺堀之内区画整理組合への助成金

日野市が川辺堀之内区画整理組合に助成金として支出した2億9500万円は不当とし、返還を求めた住民訴訟に11月16日、東京地裁は事実上、原告住民の主張を全面的に認める判断を示しました。
判決は、直前の7月に市が同組合に返還請求を行なったことで、原告住民の請求は実現したとして却下の結論を下しました。これは、原告住民が訴訟を行ったことで市が請求する結果となったことを指摘したもので、画期的な内容となっています。
なぜ、日野市の不正な助成金支出が長年にわたって行われてきたのか、全容解明とともにその責任が問われる重大問題です。

区画整理事業の3つの重大な事実

①市による総額3億7500万円に及ぶ組合への不正な助成金支出

重大なのは、不正な助成金を支出した市の対応です。

不正な組合への助成金支出は、

すでに明らかにしている平成30年度の8000万円と合わせて総額3億7500万円にのぼり、平成24年度から30年度までの7年間にわたって支出され続けてきました。

不正は、組合が市の助成金を

北川原公園まつりに2000人

確保するために、その根拠となる事業計画書の提出にあたって会計勘定科目の偽装を行なったことにあります。
なぜ、これだけ巨額の不正な助成金が長年にわたって支出されてきたのか、河内久男元副市長の不正ということにとどまらず、市役所の対応・関与はどういうものだったのか解明が必要です。
また、助成金の不正が、河内元副市長をめぐる刑事裁判で明らかになっているにもかかわらず、市はそれを認めようとせず、訴訟を3年間にわたり引き伸ばし、いっそ損害(遅延損害金)約1億円を払ってしまった原因と責任の所在を明らかにすることが求められます。

(2面に続く)

短信

江戸は2世紀半、戦争が無い天下泰平の世が続く。その中で寄席・歌舞伎・浮世絵などの豊かな文化が生まれている▼西欧の文化はオペラもバレエも貴族のためのもので、歌舞伎のように庶民の文化を、奥女中や武士がおびで観にきて広まった江戸の文化とは対照的だ▼江戸時代にできた五街道は、商人達が通った道がだんだん太くなったもの。攻めて奪う略奪戦争が続いた西欧の道は、軍隊が通ってできたものだという▼以前、NHKテレビで「お江戸でござる」という番組が毎週放映されていた。江戸時代の町民の生活をコミカルに描いたバラエティで、文筆家・故杉浦日向子(ひなこ)さんが語る「江戸こぼれ話」というコーナーが楽しみだった▼今、岸田政権のもとで日本の雲行きが急に怪しくなっている。本棚の隅にあった杉浦さんが監修した本を改めて読み直し、江戸の暮らしを再認識した▼江戸には価値観の同じ仲間たちが、わいわいと一緒になって趣味を楽しむ「連」という集まりがあった。「連」ではみんな平等。町人も侍も一緒に趣味に興じていたという▼岸田さんはアメリカに村度して日本列島にミサイルをずらりと並べると言う。お互い威嚇し合う軍事力の強化では、物騒になるだけではないか▼アジアには紛争を話し合いで解決するASEAN(東南アジア諸国連合)という「連」がある。この平和の「連」を北東アジアにも広げたいものだ。(K)

(1面のつづき)

②組合による総額7億3600万円もの組合関係者への不正・不適切な支出

さらに、重大なことは、組合が不正によって得た助成金も使って総額7億3600万円にも及ぶ不正・不適切な支出を行っていたことです。支出項目は報酬・手当などの人件費でその対象は、組合の理事・監事・評価員から事務職員、事業委託先の企業公社社員、そして河内元副市長など総勢32人にのぼります。

なお、これまでに29人から総額約5億5000万円が返還されましたが、いまだ1億4600万円の報酬返還が求められる河内元副市長をはじめとした3人は返還を拒否し、訴訟となっています。

総額7円億超、32人にも及ぶ大規模な報酬等の不正が、なぜ長年にわたって続けられてきたのか。市の指導や監査はどうだったのか。全容解明が求められます。

③組合の設立などに関与し主導した市の責任

以上のような助成金不正や組合事業の不正に対する市の責任は重大です。

へ市長は助成金が市民から徴収された税金その他の貴重な財源で賄われるものであることに特に留意し、交付の目的にしたがって誠実に事業を執行しているか、報告を求めることができる(日野市区画整理事業助成要綱)とあるように

市は、助成金交付の妥当性について確認する権限、責任を持っています。また組合事業について、必要な助言、勧告を行ったり、監査を行う権限を持っています(区画整理法、日野市補助金交付規則など)。

市の責任はそれだけにとどまりません。この組合事業の設立を主導したのは市、事業委託先の選定も市の推薦、委託先は市が100%出資して設立している企業公社です。そしてこの一連の動きを主導したのは、河内元副市長(当時、現役副市長)と堀之内元副市長(当時、現役企画部長)の2人ですから、市の責任は二重三重に重大です。

前代未聞の不正が起こった組合事業に、市が深く関与していたことは明らかです。以上の全容解明は、市、そして市議会の責任が問われる問題です。

市は、助成金交付の妥当性について確認する権限、責任を持っています。また組合事業について、必要な助言、勧告を行ったり、監査を行う権限を持っています(区画整理法、日野市補助金交付規則など)。

中野と市議と清水都議を囲んで 南平「議会報告のつどい」

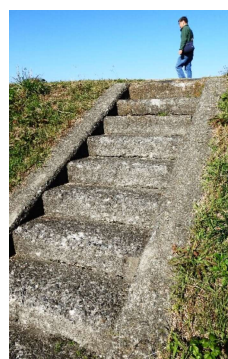
11月17日、南平「議会報告のつどい」が開かれました。

清水とし子都議からは、第3回定例会での小池都知事の所信表明は、物価高騰対策に一言も触れず、都民の暮らしには無関心の内容だったことが報告されました。

中野あきと議員は、9月議会決算委員会での公共交通、日野市の人件費カットの横行、官製談合問題などを具体的な例をあげて指摘しました。

ガザの即時停戦を求めます。緊急の街頭宣伝を行いました。

こんにちは
都議会議員
清水とし子です



〈街角から〉
これは危険！
傷みが激しい堤防の階段

南平5丁目の浅川堤防の階段は、傷みがひどくボロボロで角も崩れています。手すりも無い崩れた階段の上り下りは、年配者にとっては危険です。多くの人に親しまれている場所だけに、早く何とかしてほしいものです。

南平 Y

〈この道50年 看護師・加代子の身体 (からだ) のはなし〉

〈その5〉胃痛 (いつう)

胃痛、特に鳩尾 (みぞおち) が、ドゥーと痛い場合は、心臓の病気の可能性があります。心筋梗塞で、生命にかかわることもあります。

本人が話をできない場合は家族または付き添いの人が、「ただの胃痛」と思い込みをしないで医師に何でも話をすることが大事です。

〔無料法律相談日〕—2024年1月—

(お申込み) ☎042-582-1042

わたなべ三枝・清水とし子事務所

■11日(木) 13:00~15:00 市役所6階共産党控室
◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日本共産党発行

■毎日お届けする日刊紙・◆月3497円

■週に一度の日曜版・・・◆月930円

一部売り、お試し購読も 中野あきと事務所